

心不全の患者さんへ

心不全とは心臓の機能がだんだん低下し悪化していくことで呼吸の苦しさやむくみが現れる病気です。少しでも心臓の機能を守り、症状を予防するためには、

処方された薬を医師の指示通りに飲むことがとても大切です。

ご自身の薬について、知って理解しましょう。

○心不全に使われる主な薬について

心臓を保護する薬

効果：心臓にかかる負担を減らして、心不全の悪化を抑える。

副作用：血圧低下、めまい、空咳

あなたの飲んでいる薬は

余分な水分を尿で出す薬

効果：体内の余分な水分を尿として出し、心臓の負担を軽くする。

副作用：口渇、めまい

あなたの飲んでいる薬は

心臓の血管を広げる薬

効果：心臓の血管を広げ、血流を良くして、心臓の負担を軽くする。

副作用：めまい、ふらつき、頭痛

あなたの飲んでいる薬は

働きすぎの心臓を休める薬

効果：過剰に働いている心臓の働きを休めて、心臓の負担を軽くする。

副作用：めまい、吐き気

あなたの飲んでいる薬は

血を固まりにくくする薬

効果：血の固まり(血栓)ができて血管を詰まらせるのを防ぐ。

副作用：出血傾向(血便、血尿など)

あなたの飲んでいる薬は

心臓の働きを強くする薬

効果：弱った心臓の働きを強化する。

副作用：動悸、めまい、頭痛、吐き気
目がチカチカする(ジゴキシンのみ)

あなたの飲んでいる薬は

特に注意が必要な薬剤

- ・余分な水分を尿で出す薬(特にサムスカ)

服用すると尿量が増え、喉が渇くことがよくあります。気が付かないうちに脱水症状になってしまっていることがあるので、口が渇く時はこまめに水分補給を心がけましょう。飲水量は医師の指示に従いましょう。

- ・血を固まりにくくする薬

薬の作用で出血しやすくなります。そのため、青あざができやすい、けがが治りにくい、血便(便が黒い)、血尿などの症状が出る場合があります。そのような症状があった場合、医師や薬剤師に相談しましょう。

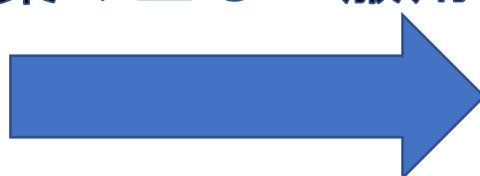
薬は指示を守って飲むことで、効果が得られます。

自己判断での中止や変更はしないでください。

副作用に気が付いたり、体調に異変を感じたら医師や薬剤師に相談しましょう。



薬の正しい服用



心臓に優しい生活を